

仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 235

3 森のおくりもの

2011年 3月号

福寿草（キンポウゲ科）



イラスト：浅見 勝彦（太白区）

弥生、3月、啓蟄・なんとなく言葉の響きが良い季節がやってきました。お山を吹く風も日に日に心地よく、木漏れ日もなんとなく柔らかな感じがします。日ごろの疲れを癒しにお山を歩き、カタクリやマンサク、アズマイチゲ・キクザキイチゲなどを愛でるのもいいかもしれません。
(武智)

黄色いシャンデリア 「キブシ」

3月6日ごろは24節季の「啓蟄」にあたります。日差しも徐々にあたたかくなり、気持ちもなんだかワクワクしてくるときです。今回は、3月の中旬、下旬ごろに見られる、早春の花の一つ「キブシ」を紹介します。



【キブシ】

【見られる場所】

観察の森では、やすらぎの道から、みはらしの道へ行くの途中の尾根道でよく目立ちます。

まだ、花も葉も少ないこの季節に黄色い小さな花がぶら下がって咲いている様子は、山の中に小さなシャンデリアがついているようで、目を引きまします。

木五倍子（きぶし）の和名は実がタンニンを多く含むので五倍子（ふし、ヌルデの虫こぶ）の代用として黒色染料にしたことからついたようです。別名のズイ、ズイノキは、電灯のない時代にキブシの髓が灯芯として広く利用されたところからの名といわれています。

「雌雄異株」といって、雄花が咲く木と雌花が咲く木が違います。花の中をよく見ると、おしべがたくさん（8本）ある方が雄花、めしべだけが大きく目立つ方が雌花です。たまに両性花もあるようです。

キブシが咲くころは、花がまだ少ないので、昼はチョウやハチなどが、夜はキリガなどが集まり、虫たちからも大人気です。早春の重要な食料源になっているのですね。

【文・イラスト:黒川】


クイズ

【もんだい】 啓蟄の「蟄」って何のことでしょう？
(下の3つから選んでね！)

Ⓐ 花

Ⓑ 鳥

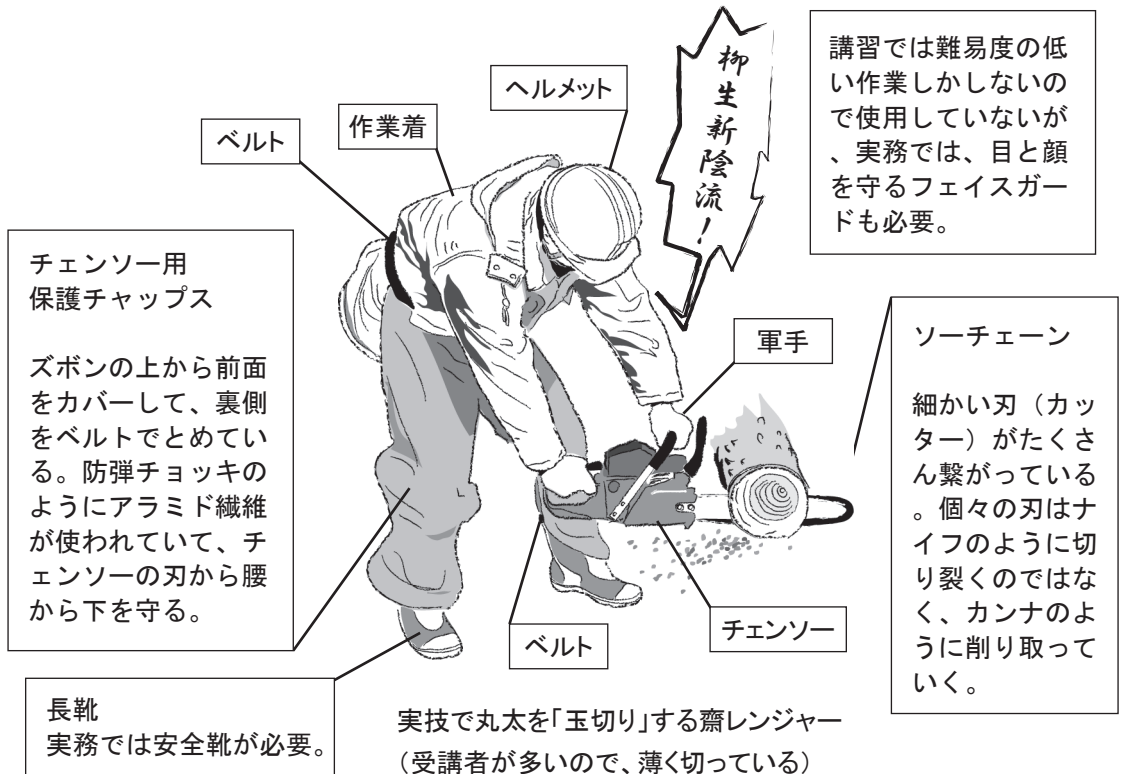
Ⓒ 蟲

【答えは、 6ページ 】

みんなで自然観察

レンジャーの
お仕事は大変です！

「毎日遊んでるみたいで楽しい仕事ね～」
と言われることが多いですが、レンジャーは楽しいだけの仕事ではありません。ガイドのときも、ゴミが落ちていないか、倒木や立ち枯れなど危険なものが無いかなど、常に気を配りながら歩いています。倒木などは、細ければノコギリで切って処理しますが、太かったり堅い場合にはチェーンソーが必要になってきます。そんなわけで、私と齋レンジャー、そして青葉の森の立花レンジャーは、チェーンソーを用いた作業を安全に行えるように、2月15、16日にチェーンソーの講習（労働安全衛生特別教育・伐木等（大径木等））を受講してきました。講義8時間と実技8時間を無事修了したわけですが、伐木作業を一人前に行えるようになるには、何年も修行を積まなければならないようです。我々も常に技術を磨き、園内整備を心がけながら巡回していますが、園内は広いので危険箇所の見落としがあるかもしれません。もしも、倒木や立ち枯れなど危険なものを発見したら、必ず自然観察センターまでご報告下さい。みんなで楽しく安全に、自然観察したいですね。



今回は、ちゃんと仕事してるぞ～！ってところをアピってみました。



森のこえ

太白山の野鳥との出逢い 『黄色と緋色のパンク鳥』

仙台の鳥撮りおやじ「小野 謙一」

東京から故郷仙台に戻り、3年半ばで丸3年となりますが、ここ太白山自然観察の森で、一番思い出深い鳥と言え「れんじゃく（連雀）」です。

仙台に来て間もなく、太白山自然観察センターを訪れるようになりますが、一ヶ月もしない4月初旬のこと、何時ものようにセンターに立ち寄り、職員の皆さんから鳥情報の入手をしていた時のことです。さり気なく、前センター長さんから「れんじゃく（連雀）なら今朝いたよ！」という言葉に愕然としたのを、今も鮮明に覚えております。太白団地から自然観察の森へ入る、その入口にある「ネコヤナギ」が今朝いたという場所でしたが、いました！凄い！の言葉しかありませんでした。本当に、夢中でシャッターを押し続け、翌日ペーパーにして報告しました。

それからもうすぐ3年、今年も先日、近くの団地に30数羽の群れが訪れ、ピラカンサの実を食べていましたが、僅か3日で食べ尽くし、次の場所へ移動してしまいました。これがその時の写真で、左が黄色・右が緋色の子です。

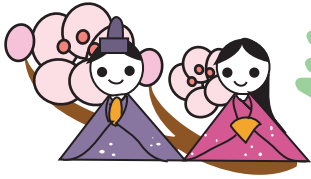
【れんじゃく（連雀）の特徴】

「連雀」は群れることに由来しており、冬鳥として全国に渡来しますが、主に2～4月に太平洋沿岸の各地に見られることが多いようです。どちらもブドウ色の太い体で、ふさふさとした長い冠羽、冠羽の下には黒い過眼線、この特徴あるツッパリ顔を見たら、二度と忘れない「パンク鳥」です。

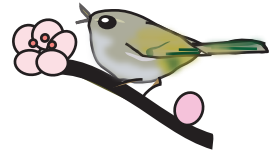
【黄色の子！緋色の子！】

どちらも良く似ていますが、きれんじゃく（黄連雀）の方がやや大きく全長19.5cm、ひれんじゃく（緋連雀）は17.5cmです。そして尾羽が名前の通り、黄色と緋色なんですよね。あとは、強いて言えば、黄色の翼には2ヶ所に白斑がありますが、緋色にはありません。黒い過眼線は、緋色の子の方が冠羽と同じくらい長いことです。

こんな面白い野鳥たちが、近隣の太白山や八木山、青葉山や広瀬川などに出没する政令指定都市は、他には札幌ぐらいしかないでしょうね。



3月の催し



「おはよう野鳥かんさつ」

3月12日(土)6:30 ~ 8:00

【講師】千葉孝行 氏

【持ち物】暖かく歩きやすい服装、
観察用具、雨具など
(双眼鏡の無料貸出あり)

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。



「第9回 みんなでつくる里山あ〜と展」

「仙台市近郊の自然・動植物」をテーマに
市民から寄せられた写真・絵画・クラフト等
を展示します。

3月9日(水)~30日(水)

【会場】自然観察センター研修室



「早春の太白山へ登ろう！」

3月19日(土)10:00 ~ 15:00

【講師】太田吉厚 氏

【定員】20名(先着)

申し込み⇒ 8日9時から電話で



「ガイドウォーク」

3月のテーマは『春をさがしに』です

6日,13日,20日,27日 (毎週日曜日)

午前の部→ 10:00~11:30

☆12月~3月は、午後の部はありません。

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。



「早春の植物観察会」

3月26日(土)10:00 ~ 11:30

【講師】滝口政彦 氏

【定員】20名(先着)

申し込み⇒ 8日9時から電話で

クイズのこたえ



啓蟄は地中にもぐっていた虫(蟄)たちが
はい出て動き出す時。また、一雨降るごとに
春を感じ、日差しも徐々に暖くなります。

休館日 7日、14日、22日、28日

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2007年3月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

*仙台市からのお知らせ:「キッズ百年の杜」のURLにガイドウォークの1年のようすが載っています。→ <http://www.kids-100forest.jp/>